

## あなたのシュレッダーの修理期間中も大丈夫!

木阪賞文堂のMSシュレッダー代替品無料貸出サービス!



思い起こせば2年前。当店が地元の自動車関連の事業所さんに販売したシュレッダーに、修理の必要が生じました。ご購入して丁度保障期間を過ぎた頃で**有償修理**になることに対してお客さんは激怒されたのであります。近年、機器類は、**修理見積りをとるだけでも“有償”**になるケースがあります。見積もり金額が高く、お客さんが修理を諦められた場合でも、メーカーによっては、見積り金額だけを請求する事が一般化してきています。この事にも激怒

されました。( \*注 ;そのまま修理されると、修理代金だけの請求で、修理見積金額を別途請求されることはありません。)

その時私は、現場までそのシュレッダーを見に行ったのですが、メーカー工場とのやり取りの中で、基幹部品の交換になってしまう可能性もあったので、**修理した場合の金額を幅をもたせて説明させて貰ったのです**。それが火に油を注いでしまう結果となってしまいました。

その社長さんには、私の意図するところが上手く伝わりませんでした。担当の方を通じて間接的に伝わった為か、ある意味誤解されてしまったようです。『**そんな高い金額なら他で買う方がマシじゃ!**』と大爆発されたそうです。翌日、お詫びとあらためて説明に・・・とお伺いしたところ、近くの量販店で買ったという新品のシュレッダーが置いてありました。(修理見積り金額より高い商品と思われました。) **ショック**でした。

個人情報云々・・・という時代ですので、お客さん側も『いつでもええよ』という訳にはいきません。兎に角急がねば・・・と焦ったザマがこれでした。この時罵られた(?)のをきっかけに、**シュレッ**

**ダーの無料代替機を用意**することにしました。これがあれば、取り敢えずお客さんに不便はかかりません。あとは当方が落ち着いて、お客さんに対して、如何に金銭的負担が掛からないようにするかを工場側と考え、相談し、実践すればよいのです。

**奇しくも、この1週間後に全く同じ機種、同じ症状で別のお客さんから相談があり貸出し第一号となったのです。**結果、この時は幸運にも（本当に稀なケースですが）**“無償”で修理完了**することができました。

もっと早くからこのサービスを実施していれば、あの自動車関連の社長さんに、金銭的にも精神的にも迷惑（負担）が掛からなかったのでは・・・と考えると申し訳ない気持ちで一杯になります。



---

**このシュレッダー修理中無償貸出サービスは、当店以外でご購入のシュレッダーにでも対応しています。遠慮なくお申し付け下さい。**